

令和7年度 コミュニティ・スクール推進校事業 会議録

会議の名称	蹠跂小学校学校運営協議会		
開催日時・公開等	令和7年	5月17日 (土)	
会議の公開等	公開		(非公開理由)
開催事前告知	令和7年	4月24日 (木)	校長室だより等で広く地域に周知を行った
開催後議事録等の周知	令和7年	5月17日 (土)	ブログや校長室だより等で広く地域に周知を行った
出席者	学校運営協議会 鈴木 康寛、稲岡 真弓、出川 由貴 校長 友田 充孝、教頭 中野 洋子、首席 CS担当 羽田野 勝治		
欠席者	0名		
案件名	1 枚方市コミュニティスクールについて 2 学校経営方針について ・令和7年度 学校経営方針 ・令和7年度 スクールビジョン ・令和7年度 学校評価 3 令和6年度 全国学力・学習状況調査、学校教育自己診断について 4 授業参観		
提出された資料等の名称	資料① …令和7年度学校評価 資料② …スクールビジョン 資料③ …令和7年度 学校経営方針 資料④ …令和6年度学校教育自己診断結果について 資料⑤ …令和6年度全国・学力学習状況調査結果について 資料⑥ …学校だより5月		

会議内容

1、開会のことば(校長より) 2、学校運営協議会委員の自己紹介 3、互選により会長、副会長を選出 会長(鈴木 康寛 氏)副会長(稲岡 真弓氏) ※今後は、鈴木 康寛氏に会議の招集等をしてもらう。 4、今年度の学校運営について(校長より) ・枚方市のコミュニティ・スクールの現状について ・今年度の学校運営委員の構成について ・今年度の学校運営について(学校理念や校内体制・目指す子ども像等) 5、学校の様子について (資料を見ながら)本年度の目標や取り組みを説明 学校教育目標の達成に向けて、教職員一同で、子どもたちの『今』も『未来』も幸せに、ウェルビーイングを実現する学校づくりを進めていくこと。職員室と学級は相似形であることから、職員室の合言葉は、「レッツ グリッパ ウェルビーイング」としたこと。 「子どもが主役の授業づくり」を心がけ、これまでのチョーク&トークの授業を脱却し、個別最適且つ協働的な授業になろうとしている。 また、子どもが自己選択・自己決定できる場面を作ろうとしている。 今年度も、自己肯定感を高めるチャレンジのある1年にしていく。 子どもたちだけでなく、地域、学校全体の自己肯定感を上げていきたいと考えている。 ○本校の学習活動について 子どもの学びと教員の学びは似ている。教室の主役は職員室の主役は教員との考えて学校を運営している。 学級の雰囲気は職員室の雰囲気で作られる。 →心理的安全性の高い職場づくりを継続していく。 子どもが主役の学習活動を進めている。 例) 6年生の総合の時間には、学校をよりよくするためにマニフェストをつくり、総選挙をしていく計画がある。 例) ひまわり学級 それぞれの課題に向き合っって同じ単元の中でも異なる活動をする。 幼保こ小連携の推進・スタートカリキュラムの充実 15大作戦(5歳児の小学校への不安感を軽減) ほっとるうむの活用(幼稚園・保育園からの滑らかな接続) 支援ルームの活用(児童の居場所に) ○人材活用について ・支援ルーム指導員の配置:校内支援ルームを設置し、元養護教諭である支援員を中心に温かな部屋づくりをしている。 ・校内通級指導教室の配置:個々の特性などにより細やかに、丁寧に対応できるように。 ・SSWの配置による子ども、家庭を含めたより具体的なアセスメントを進める。 ・司書教諭の配置による学校図書館の充実に向けた取組。 ・学校応援ボランティア「さだレンジャー」の取組の充実。協力依頼。「地域とともにある学校づくり」 6、今後の予定 第2回を10月、第3回を12月、第4回を3月に開催する。スケジュールは、事務局が調整し、会長が招集する。 7、閉式のことば(会長より)
--

※教育指導課に提出後、HP、ブログ等で公開してください。